

議会だより

No. 107

平成27年10月

発行/鳥取県日野町議会



9月定例会 主な内容

- ・27年度補正予算・条例改正…… p 2～3
- ・26年度決算認定 …………… p 4～7
- ・議員研修 …………… p 9
- ・一般質問 (4人) …………… p 10～13
- ・委員会活動 …………… p 14～15

おでかけ図書館

幸せを本に託して

高齢化が進み、図書館を利用したくても遠方でも利用しにくい住民のための「おでかけ図書館」。幸せを本に託したサービスが喜ばれています。

(関連記事 16ページにあります。)

平成27年度一般会計補正予算

補正額 2億5707万円
総額 35億1005万円

平成27年第6回日野町議会定例会は、9月7日から9月30日までの24日間にわたり開会されました。会期中平成26年度決算を認定し、27年度補正予算、条例及び規則の一部改正を原案のとおり可決し、請願審査、陳情審査、意見書の提出を可決・同意しました。

支出の主なもの

- 地域活性化・地域住民生活等緊急支援 1374万円
- ・活性化事業の事前調査検討そのほか地方創生関係の事業費用。 798万円
- 病児・病後児保育事業 762万円
- 町営バス更新 721万円
- ・老朽化した町営バスを先行して更新する。
- マイナンバーセキュリティ強化 778万円
- マイナンバー制度の導入にあたり、セキュリティ対策を行う。
- 黒坂消防車庫にトイレと流し台設置 500万円
- 下榎隣保館一部解体 798万円
- ・老朽化して一部倒壊の恐れがあるので改修する。
- LED防犯灯設置補助金 180万円
- トワイライトエクスプレス「おもてなし」イベント 91万円
- 基金積立金 1億6558万円



JR伯備線 黒坂地内を走るトワイライトエクスプレス

11月14日、21日に運行されるトワイライトエクスプレスの根雨駅停車時におもてなしをする。

収入の主なもの

- 地方交付税 1億8413万円
- 国庫支出金 945万円
- 県支出金 422万円



黒坂消防車庫にトイレなどを設置

特別会計の補正予算

- 国民健康保険特別会計 1468万円増額
- 介護保険特別会計 250万円増額
- 後期高齢者医療保険特別会計 18万円増額

賛成

- 金川 守仁議員
- 松尾 信孝議員
- 中原 信男議員
- 安達 幸博議員
- 佐々木 求議員
- 中原 明議員
- 竹永 明文議員

反対

- 山形 克彦議員
- 松本 利秋議員

条例・規則の改正

条例の改正

- 日野町個人情報保護条例の一部改正
- 日野町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等にかかる条例の一部改正
- 日野町手数料徴収条例の一部改正
- ・マイナンバーの導入に伴わない、カードの再発行にかかる手数料を定める。

規則の改正

- 日野町特別医療費助成条例の一部改正
- ・医療費の助成を従来の中学生から高校生まで引き上げる。
- 議員の出産による欠席を認める。
- 傍聴席につえの持ち込みを認める。

陳情・請願

- 根雨6区権現谷溪流水路について (採択)



根雨6区権現谷溪流水路の状況

- 町道近江畑線の拡幅整備について (採択)

- 日本を「海外で戦争する国」にする「安全保障法制」の廃案を求める決議をし、意見書の提出を求める請願書 (採択)

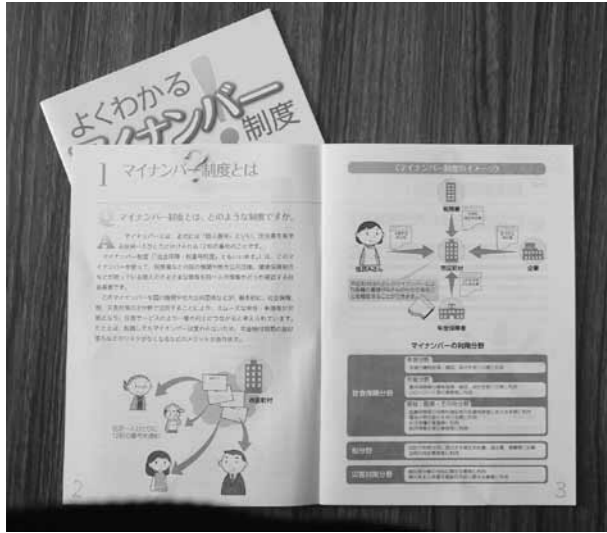
- 治安維持法犠牲者に国家賠償を求める請願書 (趣旨採択)

意見書

- 「安全保障法制」の廃案を求める意見書

- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための平成28年度政府予算にかかる意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書

- ヘイトスピーチの根絶に向けた法整備を含む対策の強化を求める意見書



マイナンバー制度の説明パンフレット



日野町議会議場の傍聴席

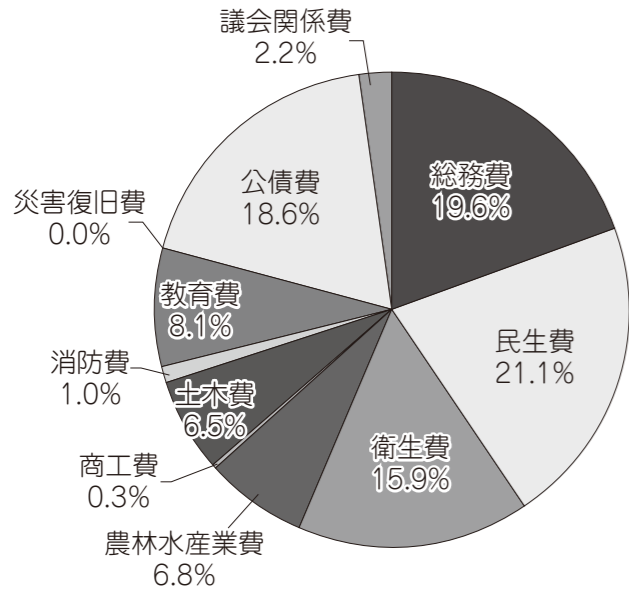


町道近江畑線の現地調査



改修が行われる下榎隣保館

一般会計で使われたお金



(単位:千円)

項目	金額
総務費	585,854
民生費	630,616
衛生費	474,560
農林水産業費	202,197
商工費	7,880
土木費	193,938
消防費	30,028
教育費	242,050
災害復旧費	0
議会関係費	64,472
公債費	554,844
計	2,986,439

一般会計基金残高(積立金)の推移

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
財政調整基金	770,094	1,054,312	1,146,036	1,298,252	1,401,607
減債基金	40,103	40,111	160,119	108,864	135,602
地域振興基金	7,677	7,679	7,681	7,684	7,685
町営バス購入基金	4,014	14,515	25,019	25,527	26,035
観光振興事業基金	12,110	16,413	16,411	19,340	21,822
その他基金	33,257	33,053	24,051	23,862	23,633
計	867,255	1,166,083	1,379,317	1,483,529	1,616,384

地方債(借金)の推移

(単位:千円)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般会計	3,485,418	3,166,540	2,904,664	2,621,276	2,239,395
簡易水道特別会計	832,473	764,344	695,416	633,135	572,040
公共下水道事業特別会計	854,946	778,961	705,957	647,325	589,660
農業集落排水事業特別会計	486,865	441,329	395,592	354,843	325,559
計	5,659,702	5,151,174	4,701,629	4,256,579	3,726,654

町税の納付額

(単位:千円)

区分	納付額
町民税	111,663
固定資産税	225,411
軽自動車税	10,266
たばこ税	26,582
計	373,922



日野町役場

平成26年度決算を認定

～町民の暮らしに直結～

◎一般会計総額 29億8644万円



福祉タクシー

◆一般会計の主な事業

○町営バス等生活交通確保対策事業 2944万円
 ・町営バスの運行、住民の皆さんの交通の確保、福祉タクシーへの助成等により、利便性が向上し安心して暮らせるまちづくりに寄与した。

○健康増進・伝染病予防事業 1581万円
 ・「がん」をはじめ生活習慣病の早期発見、意識啓発

○地域おこし協力隊支援事業 701万円
 ・地域おこし協力隊員3名を町外から招いて、農作業支援、農産物の六次産業化の推進、高齢者の生活支援など地域の活力の増進が図られた。

○環境衛生・塵芥処理事業 6071万円
 ・衛生施設組合の健全な運営で、ごみ処理、し尿・汚泥処理及び、環境保全が促進された。

○鳥獣被害対策事業 210万円
 ・有害鳥獣捕獲、侵入防止柵設置に対する助成を行う。

○チャレンジプラン支援事業 727万円
 ・元気な農業者を育成するための事業に必要な支援を行った。

○橋梁修繕事業 1491万円
 ・「長寿命化修繕計画」に基づき、福長橋(上菅地内)を修繕した。車両の通行の安全確保と景観形成が図られた。

○町道改良事業 3612万円
 ・町道黒谷2号線、根雨西側線の道路拡幅を実施した

○子育て支援事業 195万円
 ・保育士、子育て支援員、

ボランティア等の連携により健やかな子育てが図られた。

○文化センター・図書館運営事業 2582万円
 ・文化センターは、町民の自主的活動の発表、各種活動の拠点の提供が図られた。図書館は、学校図書館司書の配置等により児童・生徒の読書意欲の喚起や、住民や高齢者には、出前等のサービスにより利用者のニーズに対応できた。

◇平成26年度 財政健全化判断比率 財政健全
 ・平成26年度決算も国が示す早期健全化基準の4指標全てで基準を下回っている。実質赤字比率、連結実質赤字比率は一般会計、特別会計全てで黒字決算か収支の均衡のとれた決算となっている。将来負担比率も公債費(借金)の残額が減少し、財政調整基金(貯金)等が増加したことにより一層の健全化が図られた。本町の懸案であった実質公債

費比率は国が定める早期健全化基準(25・0%)を大きく下回る19・5%となっている。

反対討論 佐々木 求議員
 隣保館運営費を中心として、年間2000万円ほどが支出され続けている不正常な事態は不当です。同和行政の終結こそ町民の願いです。施策の終結を求めて不認定とします。

賛成討論 竹永明文議員
 財政の健全化を図るため、経費の節減などさらに努力、工夫がなされた決算であり、大いに評価し、賛成とします。

賛成
 山形 克彦議員
 金川 守仁議員
 松尾 信孝議員
 中原 信男議員
 松本 利秋議員
 安達 幸博議員
 中原 明議員
 竹永 明文議員

反対
 佐々木 求議員

特別会計

7会計すべてにおいて歳入歳出の事務処理については適切に処理できていました。国保会計は、滞納金が2678万円と多額となっており、滞納者は固定化、多重債務化しているため、徴収方法を再検討し対策を講じるよう指摘し、企業会計である簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計は、新たな滞納者が昨年より少しづつ増加している。

(単位：千円)

特別会計	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	433,893	411,478
介護保険特別会計	572,967	597,625
後期高齢者医療保険特別会計	55,037	54,854
簡易水道特別会計	102,072	102,072
公共下水道事業特別会計	107,910	107,910
農業集落排水事業特別会計	52,057	52,057
鳥取県西部町村情報公開 個人情報保護審査会特別会計	495	24

「主な個別指摘事項」

○国民健康保険特別会計
前年度と比較して滞納額が約23万3828円増加し、依然として2600万円と多額になっている。滞納者は、固定化、多重債務化しているため、徴収方法等を検討され徴収に努められたい。

○介護保険特別会計
保険料等徴収金の未収も無く、運営状況も良好である。

○日野町タクシー利用者補助金制度は、過疎地域の交通問題に対する先進的な取り組みであり、評価する。

○防災無線については、人の多く集まる場所での設置等検討されたい。

○ラフティングは、スポーツと観光振興に寄与している。ラフティングスタッフとの情報交換を密にして、指定管理等も含め支援など考えられたい。

○高齢者見守り支援や、買い物サービス実証実験など実施されているが、「来店見守り」については商工会事業者、JA、コメリ等と総合的に連携するなど、機能拡大を図られたい。

○随意契約選定については、町内業者の育成、経済

○後期高齢者医療保険特別会計
保険料等の徴収金の未収も無く、運営状況も良好である。

公営企業会計

○簡易水道特別会計
42万460円
○公共下水道事業特別会計
8万7280円
○農業集落排水事業特別会計
2万1600円

○鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計
事業、予算執行は、良好と認められた。



がん検診

の未収金があり、新たな未収世帯が増加することのないよう回収等に努められた。

決算審査特別委員会指摘事項

総務経済常任委員会

○一般会計の未収金は、前年度より205万4千円減少しているが、納税義務意識を徹底し徴収に努められたい。

①住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金共に滞納分は前年度より減少しているが、依然として多額であり、財政に影響をあたえているので回収に努められたい。

②住宅使用料、改良住宅使用料の徴収率は、住宅使用料89・0%、改良住宅使用料23・7%であり、支払い義務意識の向上を図り、指導を徹底されたい。

○簡易水道特別会計については、未収金が前年度より約2万円の増となっている。

○公共下水道事業、農業集落排水事業については、徴収努力がなされており、評価する。
町有施設の公共下水道の接続については、積極的に実施されたい。

○日野町地域活動支援交付金は、地域活性化に寄与しており、支援交付金制度の継続等の検討をされたい。

教育民生常任委員会

○「鈴原もち」の、種もみ、苗の購入について、農家に周知徹底を図られたい。

循環のため、町内業者の指定を考慮しながら基準を定めるよう図られたい。

○国民健康保険税の滞納については、特別徴収チームで対応され、努力が見受けられるが、滞納額が多額で、財政に深刻な影響を与えており、引き続き徴収努力をされたい。

○町ホームページについては、デザインを刷新し、分かりやすいレイアウトになった。町から全国への情報発信力の向上に努められた。



日野川を下るラフティング

総括意見

○財政の健全化は、財政健全化計画に沿い、町を挙げて取り組んだ成果と大いに評価します。

○町ホームページについては、デザインを刷新し、分かりやすいレイアウトになった。町から全国への情報発信力の向上に努められた。



鈴原もち

日野病院組合

病院事業 黒字決算 〔平成26年度決算〕

○病院事業
（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）
平成26年度の病院事業の決算は、739万2千円の黒字決算でした。これで平成19年度から8年連続で黒字決算となりました。

その結果、平成18年度末に約6億円あった累積欠損金は、2億287万3千円の累積剰余金となりました。

○介護老人保健施設

（あやめ）
介護老人保健施設あやめの決算は、利用者数が減少した影響等で、6850万5千円の赤字決算となりました。



地域医療を守る日野病院

日野町・江府町・日南町 衛生施設組合

平成27年度第3回議定会例会が8月21日に開催されました。

議題

平成26年度衛生施設組合会計歳入・歳出決算の認定について
平成27年度衛生施設組合補正予算が原案のとおり、可決されました。

「汚泥再生処理センター」 建設工事に着工

11月10日 起工式

総工費

16億1784万円

○工事場所

江府町佐川地内

・汚泥再生処理センター「清化園」建設工事に着工。既設部分の解体、山留め、杭掘削地業工事、機器

搬入据付、配管工事が行われ、平成29年11月30日完成の予定です。

し尿処理センター清化園

西部町村議会議員研修会

9月1日 伯耆町

地方創生講演会

参加者全員で「地方創生と企業家精神」という演題で講演を受けました。

講師は、南部町寺内出身で、株式会社武蔵野会長安田定明氏と江府町御机出身、同社顧問弁護士新壽夫氏で、トークを交えた講演でした。

安田氏は日野産業高校を出て東京で働き、高度経済成長の波に乗りながら埼玉県朝霞市に現「武蔵野」を設立。日本一の外食産業に育て上げられた足跡を、新弁護士との軽妙な掛け合いで話され、その苦労の中に隠された人生行路を感じ取

ることができました。

結びに、「地方創生は若い人の住みつくまじづくり、若者のパワーが必要だ」と投げかけられ、まさに限界集落、消滅集落を抱える自治体の打開に向けた根源は、そこにありと感じました。

佐々木求議員表彰

同日、自治功労者表彰式で、本町の佐々木求議員が、議員在職18年以上の功労で表彰されました。

その功績をたたえ、心から祝意を表します。おめでとうございました。



安田 定明氏

西部町村議会議長会 行政調査報告

（8月25～27日）

中越地震から10年

新潟県山古志村復興状況調査

「山古志復興交流館おちたる」で、震災時の状況を受け、シアターと写真で説明を受け、役場職員の案内で、被災現場を視察しました。震災を風化させないで語り継ぐため、「中越メモリアル回廊」と名付け、災害地の公園化、資料館として設置。ツアーコースとして売り出していました。

今も、村中の震災の爪痕が観光資源として生かされています。

全村避難後1600人が帰村。10年後の現在1300人で、一年30人の人口減が続いています。

魚沼産コシヒカリ、錦鯉養殖が盛んで海外輸出され

山形県川西町を調査

一、議会基本条例に基づいた議会改革

○町民に開かれた議会、議会代より、議会中継、広報編集作成の特徴など研修し、取り組めるところより議論をしていく必要性を感じました。

二、6次産業化推進の取り組みと成果

○農業生産物の6次産業化は高付加価値農業の切り札で、商品開発・販路拡大に、4億円をかけて、販売施設・レストラン併設が来年度計画されました。



松本 利秋議員

元サンプラザの計画は拙速 住民説明会を

答 地方創生戦略の柱として取組みたい

議員 地方創生で、本町は「きらり日野町創生戦略」を10月に策定する運びです。その中で、元サンプラザの活用については、高額な投資であるにも関わらず、1年前に表明された時と同様に計画が不透明で、十分に町民とのコンセンサスを得てから取り組むべきであり、現時点では拙速過ぎではありませんか。

町長 町の地方創生戦略の柱として、事業所や店舗の誘致等による雇用の創出、町の情報発信、特産品の展示販売、コミュニティスペース等による交流人口の拡大、賑わいづくりの拠点施設として有効活用を図りたく思っています。

議員 この施設が本当に有効活用されるのか不透明であり、負の財産となる懸念も十分に考えられることから、活用の方向性を見通し



元サンプラザの玄関

た上で、計画として上げられるべき、と考えます。

町長 今回は基本構想を作成するために必要な予算を上回るものではないかと考えています。

議員 計画では、施設の改修に係る費用として2億1300万円程度と、年間の維持管理に係る費用540万円程度を試算し、議会に示されました。



元サンプラザ周辺

これだけの財源を使用するのであれば、住民説明会を開催し、理解を得ることが必要ではありませんか。

町長 あくまで現時点で想定される活用方法について、

町財政負担等を試算したものです。今後検討委員会で、具体的な活用方法を議論していきます。

町民の皆様に説明するとともに、利活用の案についても、募ってみたいと考えています。

ない現状では、生徒が予習・復習が家庭で出来ないのが現実ではありませんか。

教育長 家庭では、予習・復習は出来ないのが現状です。

議員 他の町村と同様な環境整備が急務であり、待つ

たなしの状況ですが、具体的な展望はありませんか。

総務課長 ADSL/WIFI/LTEなど、無線LANシステムを、組み合わせ各地域特性を考慮した通信網を早期に検討してまいります。

高速通信システムは

答 最適なシステムを検討します

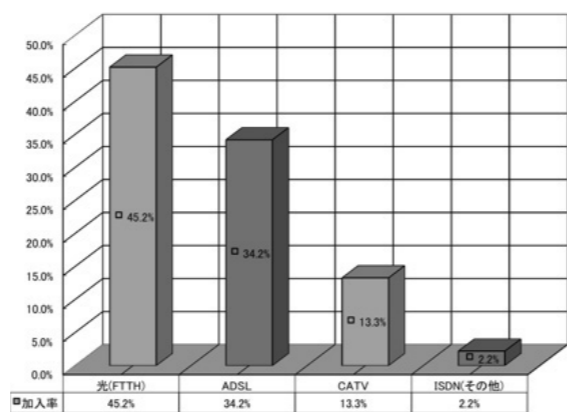


金川 守仁議員

議員 過去に、光ケーブルが「必要でない」と判断した経緯をおたずねします。

町長 全世界にアンケート調査した結果、利用を希望する人は、4分の1程度であった。また、経費の問題も考慮し断念しました。

全国ブロードバンド接続方法加入比率 (2009年調査)



ブロードバンド通信加入状況 (全国調査)

議員 既存企業の存続と誘致に伴う高速光通信等を「システム」として、どのように構築されますか。

町長 近隣の自治体と比較して不利な状況です。3月の補正予算で「ブロードバンド検討会」を設置して検

討段階にあり、最適なシステムを提示したいと考えています。

議員 子育て支援や、教育環境についての要望が届いていますか、また、要望等については、どのように対応されていますか。

町長 PTAや個々の保護者から直接要望等はありません。町のホームページにアクセスも無い。学校教育では、IT化を取り入れ今後の教育環境の整備に取り組んでいきます。

議員 環境整備が整ってい



電子黒板/タブレットを活用した学習風景



安達 幸博議員

文化的資料をどこで管理するか

答 空き施設等の有効的活用を検討中

議員 歴史民俗資料館の改修についてお尋ねます。

町長 夜間の外観ライトアップ工事、館内照明のLED化も早期実施に向けて検討をします。

外壁及び窓枠等建具の改修や、二階展示室の傾き等の改修を行う必要がありますが、多額の費用が必要であり今後の課題です。

議員 トイレも歴史資料の一つではあるが、トイレの改修の考えを尋ねます。

町長 宝仏山登山者用にも必要なので、水洗化に早急に取り組みます。

議員 多額の費用がかかる改修は、計画性が必要ではありませんか。

町長 近藤家から寄贈されたこの建物を、耐震化を含め、町の貴重な財産として、近藤家に報いるように大切に保管、活用しようと思えます。



国登録有形文化財となっている「歴史民俗資料館」



歴史民俗資料館から根雨の町を一望

議員 収蔵庫や研修施設等の考えをお聞きます。

町長 町内の空き施設などを活用して収蔵庫や研修施設や古文書が解説できる場所を検討中です。

議員 サンプラザ跡も考えてみませんか。

町長 実は、サンプラザ跡の二階事務所を活用できないかと思っています。

議員 日南町は、美術の学芸員を設置しています。本町は、博物館の学芸員ならば、互いの交流もできます。学芸員配置についてお聞きします。

教育長 基本的に学芸員がいれば、すばらしいことができます。学芸員の資格を持った役場職員ならば有効利用の必要性は感じます。

町長 一般行政事務もやりながら学芸員の資格を持つ人を採用しよう検討しています。

町から戦死者を出してはならない

答 戦争は絶対にしてはならない



佐々木 求議員

若者を戦場に送るな

議員 地方自治体は自衛隊員の募集をしており、「戦争法」で厳しく責任を問われることになりましたか。

町長 自衛隊法により募集事務の一部を行っています。国民が駆り出される「戦争」は絶対にやってはいけません。と思っています。

議員 三町連携の大きな柱として、高校存続のための

若者を送るな

議員 三町連携の大きな柱として、高校存続のための

町長 日野高校と三町の連携があまり進んでいないと新聞に取り上げられたが、意見交換の場で、年間の事業計画の調整ができなかったり、引率教員が足りないために実施を断念するなど、

運動を進めてきました。学校・行政・地域がコーディネーターと一体となり、魅力向上の取り組みを行っております。

経緯を踏まえて、これまでの成果と、今後の考え方をお尋ねします。



塔の峰の平和観音像



日野郡の宝、日野高校

過去4年間の議論を踏まえ、学校側の危機感が薄いのではないかと指摘しました。

連携が進まなかった要因は、地域連携事業に対する町側と学校との共通認識、コミュニケーションの不足もありました。

改めて、3町と日野高校の話し合いの場を設け、県教育委員会・日野振興センターにも加わってもらい、取り組みを進めていきます。

根雨簡易水道は？

議員 根雨簡易水道改修計画はどこまで進展しているのか伺います。

町長 現在、専門コンサルに調査委託し、施設整備案・浄化方法・建設予定地調査など検討しています。

総務経済常任委員会 活動報告

商工会青年部と意見交換会 7月2日開催

意見交換会の概要

○ブロードバンドの整備推進の遅れは商工業の振興を妨げています。また、企業誘致、移住、定住の推進にも支障をきたしています。

○地方創生事業に組み入れて、推進してほしい。

○仕事の確保、地場資源の活用を行い、会わせて特産品の開発等を行政も一体になって進めてほしい。

○米子に通勤している人たちに對して、地元での生活基盤の手立てが必要です。



商工会青年部と意見交換会

観光協会と意見交換会

8月18日開催

行政と観光協会が一体となった活力ある「まちづくり」について「意見交換をおこないました。」

意見交換会の概要

○観光協会は観光案内にインターネット等に対応している。

○オシドリ観察客の街中散策を薦めています。

○金持神社と町内観光を線でつなぐ工夫が、課題である。

○江府町は、Tシャツ等で十七夜を売り出している。

○宝仏山の登山客に、街並み散策の誘客を積極的に。

○元サンプラザを活用して、門前町的な役を果たせないか。



観光協会と意見交換会

○観光を優先的な施策にして交流人口増を図らせたい。

○境港入港の豪華客船の乗客の誘致に、郡内三町で観光PRを。



町道畑近江線の現地調査

現地調査を踏まえた陳情審査

一、6月15日に、根雨六区権現谷溪流水路について、現地で陳情者と立会のもと、調査を行った。

二、7月6日に、町道近江畑線の拡幅整備について、現地で陳情者外三名の立会のもと、説明を受け調査を行った。

教育民生常任委員会 活動報告

日翔会グループと意見交換会 7月30日開催

日翔会「介護老人保健施設おしどり荘」は、米子・倉吉・新見・新郷の各施設を統括する地域本部機能を持っています。高速ブロードバンド(光ファイバー)通信ができないため、各施設や東京本部とのデータのやり取り、介護保険請求に時間がかかり不便を感じられています。委員会は、高速ブロードバンド、看取り介護(日野病院との連携)、介護予防事業を含め、町との連携について調査しました。

町からの聞き取り

○高速ブロードバンド通信は、日野町に合った形態を年度内に報告できるように町が検討中です。

○看取り介護については、日野町が日翔会にお話を伺い日野病院と協議をしています。

○地域ケア会議、見守り連絡会などは行っているが、更に町執行部と日翔会の懇談会を実施するとの回答を得ました。



日野町に本部機能をもつ「日翔会グループ」

行政調査報告

10月7、8日の2日間、広島県世羅町の教育行政、島根県奥出雲町のたたら製鉄及び特産品づくりについて現地調査を行いました。

広島県世羅町訪問

①教育力の向上

保幼小連携、小中連携によりスムーズな移行。

地域行事、ふるさと学習などを通して中学生にはリーダーの育成を推進している。

②タブレットの活用

子ども達の情報活用能力の育成は不可欠であり、全校にタブレット・電子黒板を整備し同時に教員のICT(情報通信技術)活用力の向上を図る。

③中学生海外研修制度

アメリカ・ハワイ州でのホームステイや交流、語学研修、文化施設・遺産の見学を通じて国際社会を生きる人材の育成のため、毎年8人程度に総経費の半分を町が助成して実施。

このほか、英検受験者に

島根県奥出雲町訪問

①特産品づくり

検定料の半分を助成したり、高校留学生を迎える寄付金募集を行うなど、高校に対する熱い思いを聞きました。

②たたら製鉄の保存

仁多米、和牛、椎茸、舞茸、そば、エゴマなどをカントリーエレベーター、繁殖育成、農畜産加工、堆肥の各センター施設を利用して6次産業化を促進し、推定28億円の売上実績をあげています。

③文化財の保存

かなな流しによって出来た棚田や製鉄遺構、文化遺産を、文化的景観の定義により再評価しました。奥出雲町文化的景観保存計画を策定し、国の重要文

今後、整備活用計画を策定し、「たたら」の炎がある町として観光資源、仁多米、地酒、農産物のブランドを全国情報発信するとともに、子ども達の地域教材として活用する話を聞きました。



「かなな流し跡地」を視察する

まとめ

本町が推進している保小中一貫教育は、切れ目の無い教育としてさらに推進すること。本町でも始まったタブレット授業を見守り、将来を担う若者の育成に努めて行きたいと思われました。

また、特産品づくりに行政の支援が必要なこと、文化財保護にも地域の理解と行政の支援並びに推進がなければ難しいことなど多くのことを学びました。本町の教育、地域づくりに生かしたいと思えます。

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

開館20周年 より身近な図書館に



「私たちのご案内します。」

日野町図書館は、1978年に県立図書館日野分館から町に移管され、その後1995年、日野町文化センター・図書館の複合施設として現在所

（根雨駅前）に建設され、今年で開館20周年を迎えました。はじめの頃は、「図書館は勉強しに行くところ」というイメージが強く、入りにくい施設と思われていましたが、様々な企画や広報、口コミなどで、今では赤ちゃんからお年寄りまで、多くのみなさんに利用しても

らえるようになりました。そして、本の貸出しだけではなく、健康情報やハローワーク情報、ごみカレンダーや観光情報などの暮らしの情報コーナーも設置し、月替わりで町内のみなさんのギャラリー展示をしています。

子どもの豊かな読書を推進するため、ブックスタート子育て支援室や保育所への「おはなしの出前」、小・中学校の図書館との連携を行い、「アートスタート」や「木のおもちゃづくり」などの活動支援も行ってきました。

また、高齢者サロンへの出前や俳句教室、あたまイキイキ音読教室、じげじまん聞き取り事業、生田長江顕彰事業などにも取り組んでいます。ただ、高齢化がすすみ、図書館までなかなか来られない人も増えてきました。そこで、昨年「町中を図書館に」と、図書館の車に乗せて病院や保育所、公民館に出かけ



ぽかぽか教室で出前図書館

たり、あいきょうさんの移動販売車に同行して貸し出ししたりする「おでかけ図書館」も始めました。

さらに今年から、町内のお店や集会所、個人の家などに本箱を置いて、自由に本を読んだり、借りたりできるよう「よらいや図書館」を開始したところです。

みなさんの身近に図書館を感じてもらいたい頼りにしてもらえよう、これからも頑張っていきたいと思えます。（松田 暢子記）

あとがき

9月議会は別名「決算議会」と呼ばれ、「決算審査特別委員会」を立ち上げて昨年度の決算を審査しました。「もう済んだことをあれこれとどげすうだ」と言われそうですが、決算審査は、予算効果と行政効果を客観的に判断して、以後の予算編成と行政運営の改善に役立てるという重要な意義をもつものです。その結果今後の行政で皆さんのお役に立てるよういくつかの指摘もしました。そのような目で「決算特別委員会指摘事項(P7)」をもう一度読み直していただけると、この議会だよりが皆様のお役に立つと思います。

そんなことも「議会だより」の役割のひとつです。

（松尾 信孝記）

議会広報常任委員会

委員長 佐々木 求

副委員長 松尾 信孝

松本 利秋

中原 信男

金川 守仁

山形 克彦